

昭和館写真展



昭和の九段下界隈

令和4年

3.19(土) → 5.8(日)

昭和館 2階ひろば

- 開館時間 / 10:00 ~ 17:30 (入館は17:00まで)
- 休館日 / 毎週月曜日 (3月21日は開館、3月22日は休館)
- 後援 / 千代田区 千代田区教育委員会

入場
無料

A 九段坂の大改修工事の様子 昭和2年(1927)頃 九段北 B 愛国婦人会の行進 昭和12年(1937)3月 九段北 米国立公文書館提供
 C アーミーホールとなった軍人会館 昭和21年(1946)8月 九段南 カルメン・ジョンソン撮影 CARMEN JOHNSON COLLECTION, GENERAL DOUGLAS MACARTHUR FOUNDATION D 靖国神社のみたままつり 昭和23年(1948)7月19日 九段北 米国立公文書館提供



昭和館

〒102-0074
 東京都千代田区九段南1-6-1
 TEL.03-3222-2577
 FAX.03-3222-2575



<https://www.showakan.go.jp>

<https://twitter.com/showakankudan>

<https://www.facebook.com/showakankudan/>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内の一斉清掃や、入場制限を実施しています。詳細はHPでご確認ください。

交通のご案内

電車をご利用の場合

地下鉄九段下駅から徒歩1分
 (東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口)
 JR飯田橋駅から徒歩約10分

車をご利用の場合

首都高速西神田ランプから約1分
 (九段下交差点)

● 有料駐車場(30分200円)
 普通乗用車専用駐車場がご利用になれます。



昭和館写真展 うつりゆく昭和の九段下界限

ごあいさつ

昭和館では、所蔵写真を通して戦中・戦後の暮らしを知っていただくために毎年写真展を開催しています。今年の春は『うつりゆく昭和の九段下界限』と題して、九段下とその周辺の写真をご紹介します。

千代田区九段は、古くから桜並木や内濠のほたりなど四季折々の風景を楽しむことのできるスポットが数多くあり、景勝地・行楽地として知られていました。靖国神社や千鳥ヶ淵戦没者墓苑には、戦没者への慰霊と平和への思いを胸に今も多くの遺族が訪れます。

戦時中には空襲で甚大な被害をうけ、焼け残った建物の多くが戦後GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)により接収されました。九段下の象徴的な建造物であった「軍人会館」も昭和20年(1945)9月に接収され米軍士官の宿舎や食堂として利用されていました。昭和32年1月に返還後、平成23年(2011)まで日本遺族会がホテルや結婚式場を備える「九段会館」として運営してきました。

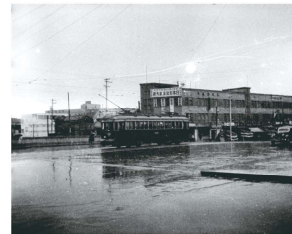
時代とともにうつりゆく九段下とその周辺の様子を、お楽しみください。



E 神保町の裏通り
昭和9年(1934)2月 神田神保町
石川光陽撮影



F 完成した軍人会館
昭和9年(1934)3月 九段南
米国立公文書館提供



G 雨の中を走る東京市電
昭和13年(1938)4月 九段南
渡辺豊貞撮影



H 春たけなわの内堀通り
昭和13年(1938) 九段南
師岡宏次撮影



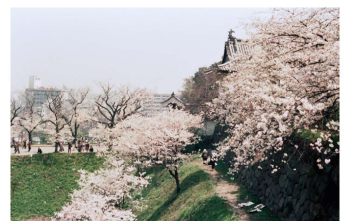
I 東京大空襲翌日の九段下交差点
昭和20年(1945)3月11日 九段南
石川光陽撮影



J 靖国神社へ参る人びと
昭和20年(1945)8月16日 九段北
石川光陽撮影



K 畑となった皇居の濠
昭和21年(1946) 九段南
米国立公文書館提供



L 千鳥ヶ淵の桜
昭和44年(1969)4月頃 九段南
太田駿三撮影